

“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プランにおける 各小学校区の方針(案)について

諏訪市役所 健康福祉部 こども課

令和7年2月

目次

01・・・これまでの経過

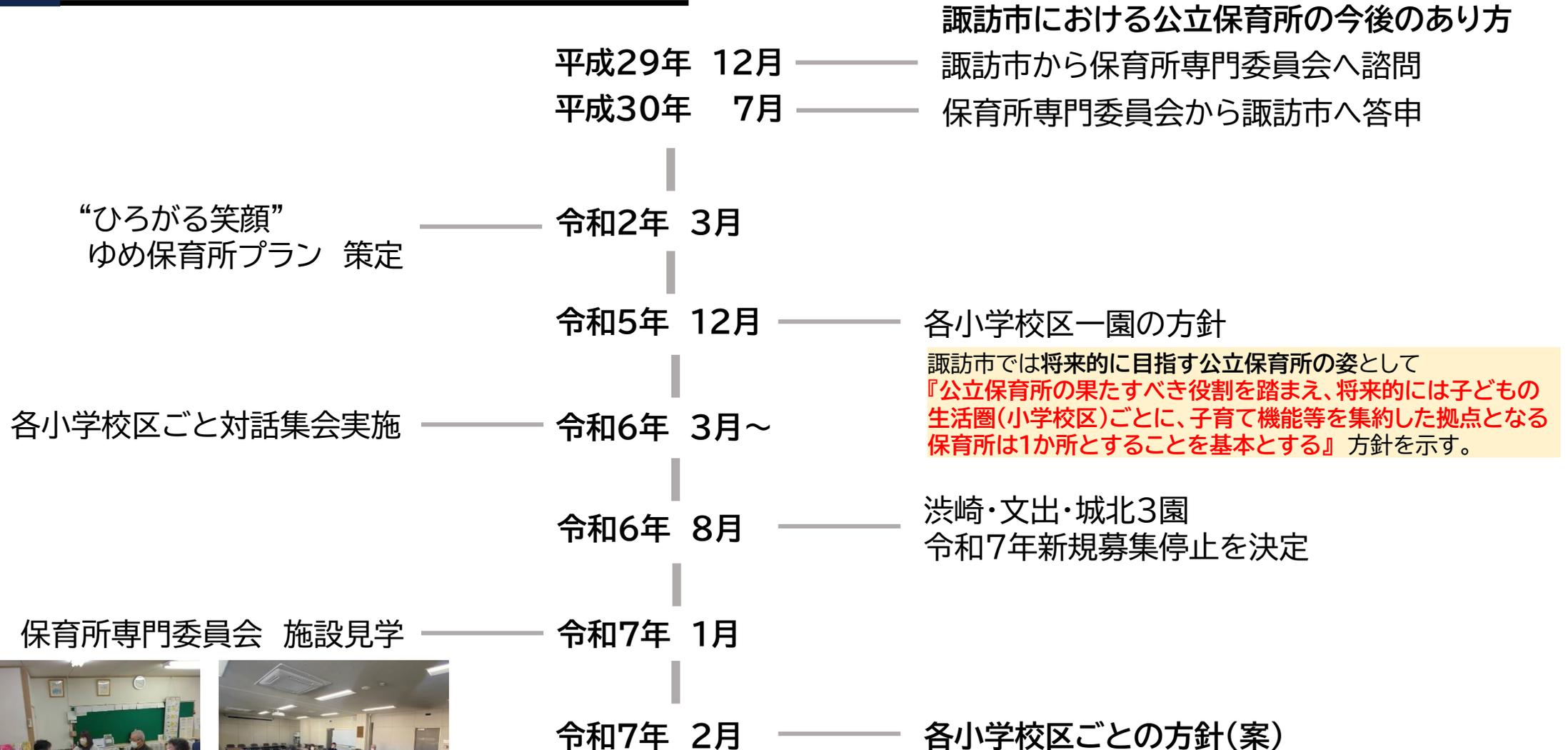
02・・・本方針(案)にあたっての前提条件

03・・・各小学校区(施設面)の方針(案)

04・・・今後の進め方について

01

これまでの経過



- ① 保育を取り巻く環境の変化
- ② 方針(案)決定に向けて(施設面と機能面)
- ③ 個別施設計画策定業務委託の実施
- ④ 民間参入の状況

- ① 保育を取り巻く環境の変化
- ② 方針(案)決定に向けて(施設面と機能面)
- ③ 個別施設計画策定業務委託の実施
- ④ 民間参入の状況

02

本方針(案)にあたっての前提条件

(諏訪市の人口推移)

2000年

53,858人

[3,395人]

2022年

47,983人

[1,969人]

2045年(予測)

38,472人

[1,437人]

※0~5歳児の人口は
こども課独自試算によるもの

人口全体でおよそ20年で10%以上の減少
特に0~5歳の人口は6割以下まで減少

この先20年ほどのうちに0~5歳の人口は
現在の7割程度まで減少する可能性がある

02

本方針(案)にあたっての前提条件 (諏訪市の園児数の推移)

2000年

2022年

1,364人 ▶ 1,098人

未満児: 56人
3歳以上児: 1,308人

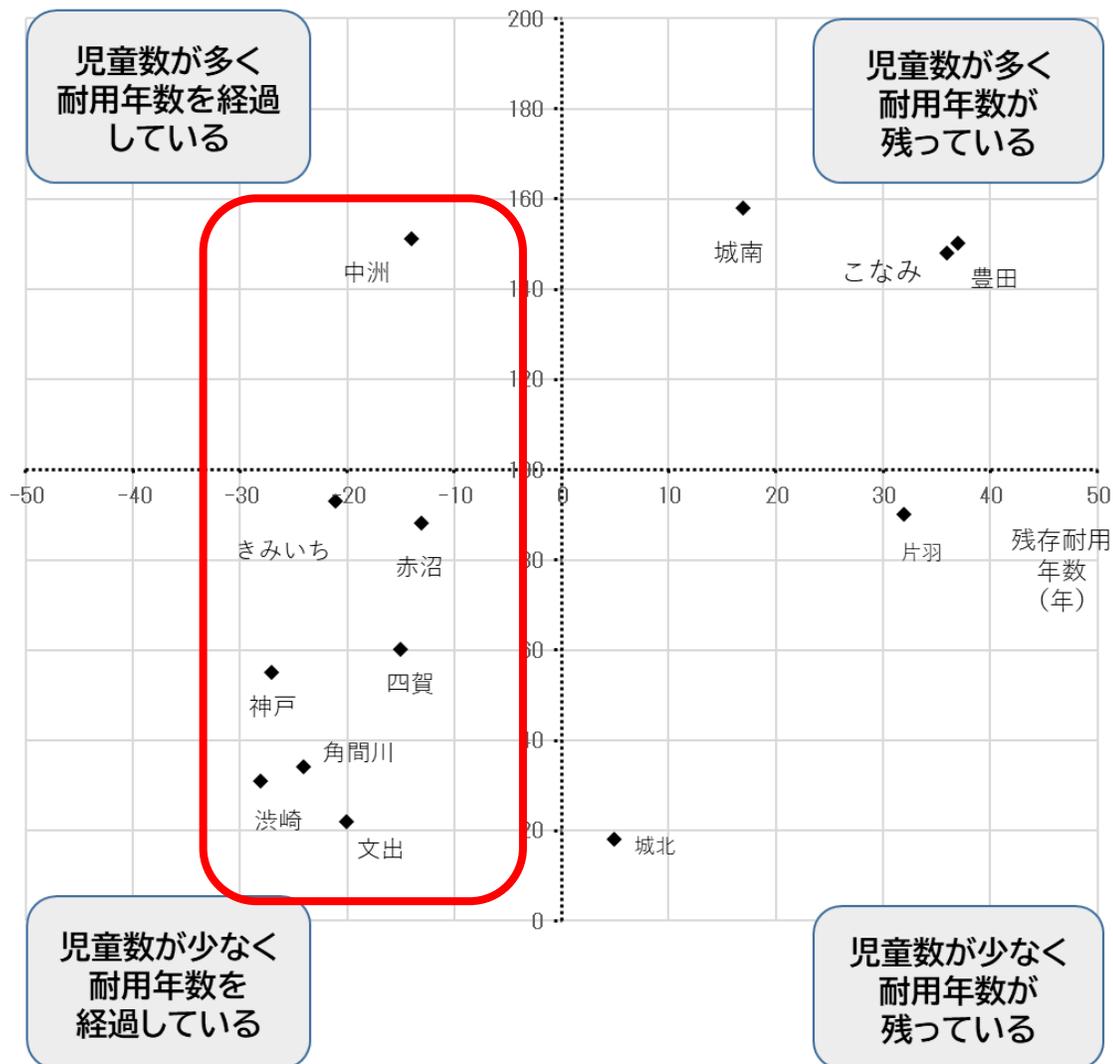
未満児: 231人
3歳以上児: 867人

3歳以上児の利用が大幅に減少する一方で、
社会情勢の変化により未満児利用が増えている

02

本方針(案)にあたっての前提条件

(施設の老朽化度合いと園児数)



耐用年数を大きく超過した園舎

- ・寒い
- ・雨漏り などなど...



必要な箇所を優先順位をつけて
補修・修繕を行っていくが、
**この先の将来にわたり施設を
安全な状態で維持し続けることは困難。**

- ① 保育を取り巻く環境の変化
- ② 方針(案)決定に向けて(施設面と機能面)**
- ③ 個別施設計画策定業務委託の実施
- ④ 民間参入の状況

本方針(案)にあたっての前提条件(方針決定に向けて)

施設面



客観的な施設状況から
大まかな方向性を
示すことができる



今回示す方針(案)

機能面



意見・要望等を
集約する余地がある



更なる意見集約を行う

子育て支援機能

- ・集団でなじみづらい
- ・なかよし教室
(就学前支援)
- ・病児病後児

などなど..

- ① 保育を取り巻く環境の変化
- ② 方針(案)決定に向けて(施設面と機能面)
- ③ 個別施設計画策定業務委託の実施**
- ④ 民間参入の状況

個別施設計画策定業務委託の実施

- ・特に耐用年数が経過していない園に関して
各施設の効率的・効果的な施設整備のための要件を把握
(経年劣化に対応するための修繕箇所の洗い出し)
- ・特に耐用年数を超過している園舎に関して
将来を見越し、現地建替えを行う場合の面積等条件の整理

個別施設計画策定業務委託 の実施

- 各施設の効率的・効果的な施設整備のための要件を把握
(経年劣化に対応するための修繕箇所の洗い出し)
- 特に**耐用年数を超過している**園に関して
将来を見越し、**現地建替えを行う場合の面積等条件の整理**

将来を見越し、現地建替えを行う場合の面積等条件の整理

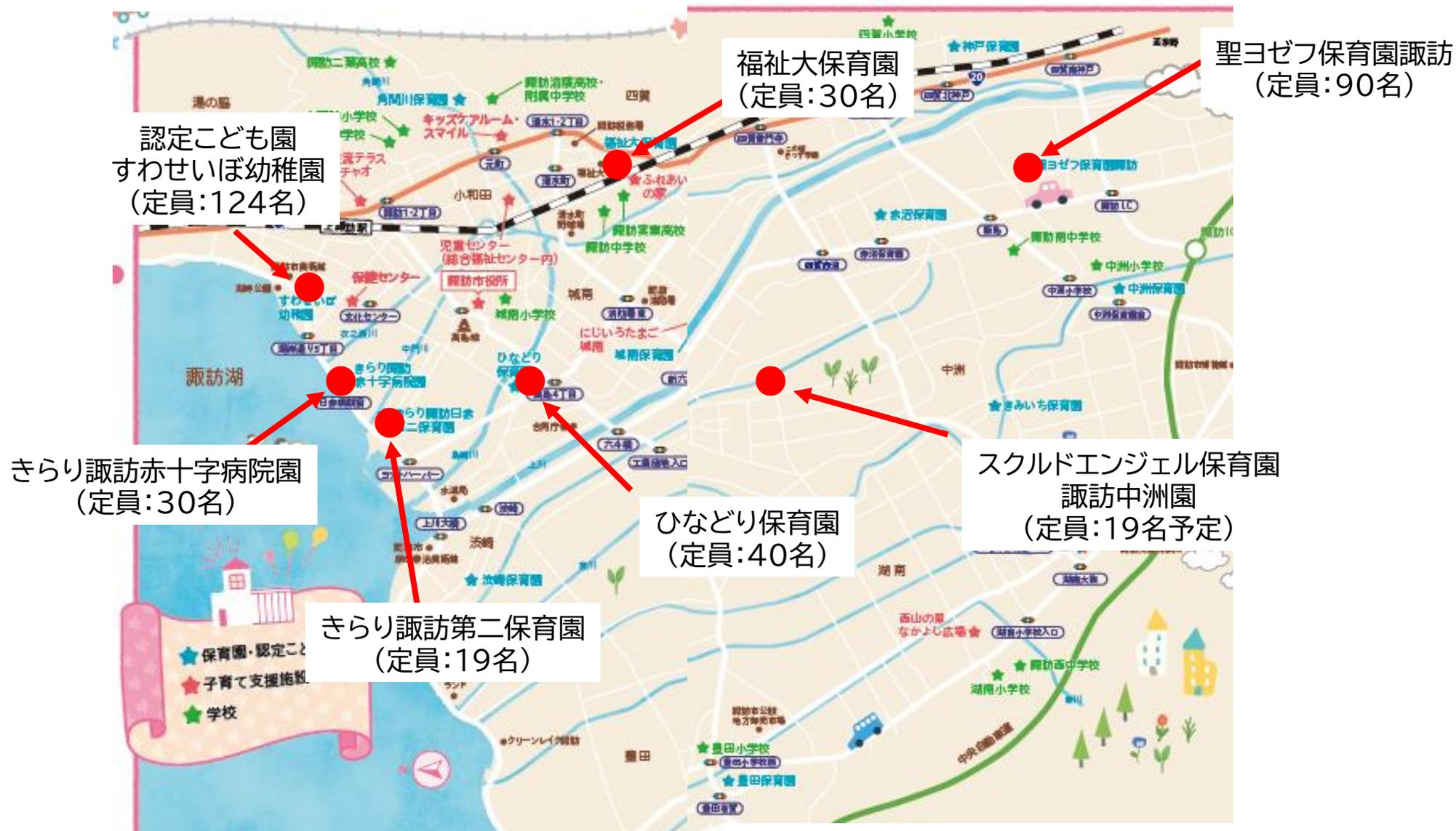


- ・具体的な保育施策に係る部分(各園が有する保育サービスの機能)
→今後の意見集約の中で決定していく。
- ・駐車場と保育室を確保する前提で絵を描いてもらう
→最低限の確保できるかの想定はする必要がある。

本方針(案)にあたっての前提条件

- ① 保育を取り巻く環境の変化
- ② 方針(案)決定に向けて(施設面と機能面)
- ③ 個別施設計画策定業務委託の実施
- ④ 民間参入の状況

本方針(案)にあたっての前提条件(民間参入の状況)



各小学校区の方針案 ①上諏訪小学校区



片羽保育園 築16年



角間川保育園 築47年



城北保育園 築30年

【園児数の推移※諏訪市の人口が最も多かった2000年との比較】

2000年 68人



2023年 79人

2000年 52人



2023年 47人

2000年 88人



2023年 15人

【上諏訪小学校区総数】

2000年 266人 ▶ 2023年 141人

※山の神保育園 32人
角間新田保育園 26人



【概要】

片羽保育園は築16年と比較的新しいことから、片羽保育園を維持していくことを念頭に考える。
角間川保育園は築47年を経過することから、既存園舎をそのまま長期にわたって使用していくことは困難である。

城北保育園については鉄骨造のため耐用年数は超過していないが、園児数の減少により、令和7年度新規受入停止の方針を示した。



【方針(案)】

片羽保育園

拠点園として位置付け、長寿命化改修の実施を検討する。

角間川保育園

保育ニーズの推移を見守り、当面は施設を維持していく。

城北保育園

令和7年度は新規入園受付を停止する。

各小学校区の方針案 ②城南小学校区



渋崎保育園 築51年

【園児数の推移】

2000年 40人



2023年 26人



城南保育園 築18年

2000年 145人



2023年 153人

【城南小学校区総数】

2000年 205人 ▶ 2023年 179人

※八剣保育園 20人



渋崎保育園 築51年



城南保育園 築18年

【概要】

渋崎保育園については園児数の減少により、令和7年度新規受入停止の方針を示した。

また、併設しているなかよし教室は、乳幼児や小学校との連携の中で重要な位置付けであり、引き続き継続していく中で、あり方を検討する必要がある。

城南保育園を公立保育園で維持していくが、供用開始18年を経過し、福祉避難所であることから早急に長寿命化を実施していく必要がある。



渋崎保育園 築51年



城南保育園 築18年

【方針(案)】

渋崎保育園

令和7年度は休園とする。
なかよし教室の今後のあり方について検討を進める。

城南保育園

拠点園として位置付け、長寿命化改修を実施していく。
(令和7年度当初予算(案)に実施設計業務を計上予定)

各小学校区の方針案 ③四賀小学校区



【園児数の推移】

2000年 75人



2023年 50人

2000年 138人



2023年 78人

2000年 59人



2023年 34人

【四賀小学校区総数】

2000年 272人 ▶ 2023年 162人

03 各小学校区の方針案 ③四賀小学校区



【概要】

プランの方向性及び園児数の動向を勘案していくと3園を集約化していく必要があるものの、四賀地区3園ともに老朽化が進行していることから、現在の施設を長寿命化をして維持していくことは困難である。



【方針(案)】

四賀保育園

赤沼保育園

神戸保育園

集約化を念頭に、移転建替を行う。(民間活力の活用も併せて検討する)
既存の3園の敷地で現地建替えを検討すると、保育室及び駐車場の必要数を確保することは困難である。利便性等を考慮し、移転建替を軸に検討を進めていく必要がある。また、建替にあたっては施設に付加させる機能面を検討する。



【園児数の推移】

2000年 129人



2023年 142人



2000年 75人



2023年 90人

【中洲小学校区総数】

2000年 204人 ▶ 2023年 232人



【概要】

人口減少が市内他地区と比べて比較的緩やかな地区である。令和5年度に実施したサウンディング調査では、民営化に対するニーズも多くあった。いずれの園も老朽化が進んでいることから建替えを検討する必要がある。

3歳未満児に対する受け皿が少ないが、令和7年4月よりスクルドエンジェル諏訪中洲園が開所予定。



中洲保育園 築37年



きみいち保育園 築44年

【方針(案)】

中洲保育園

きみいち保育園

集約化を念頭に、移転建替を行う。(民間活力の活用も併せて検討する)
現地建替を検討すると保育室及び駐車場の必要数を確保することは困難である。そのため、移転建替を軸に検討していくことになるが、両園の園児数及び人口減少が緩やかなエリア特性を勘案して新園舎の規模を検討していく必要がある。

また、建替にあたっては施設に付加させる機能面を検討する。



豊田保育園 築11年



文出保育園 築43年

【園児数の推移】

2000年 113人



2023年 140人

2000年 88人



2023年 30人

【豊田小学校区総数】

2000年 201人 ▶ 2023年 170人



豊田保育園 築11年



文出保育園 築43年

【概要】

文出保育園については令和7年度新規受入停止の方針を示した。
豊田保育園は令和6年度で築11年を経過したところである。将来的には長寿命化工事を視野に入れつつも、経年劣化に対する対応を進めていく必要がある。



豊田保育園 築11年



文出保育園 築43年

【方針(案)】

豊田保育園

拠点園として位置付ける。
経年劣化に対応するため、計画的に修繕を実施する。

文出保育園

令和7年度は新規入園受入を停止する。



こなみ保育園 築12年

【園児数の推移】

2000年 83人



2023年 147人

【湖南小学校区総数】

2000年 216人 ▶ 2023年 147人

※大熊保育園 133人



こなみ保育園 築12年

【概要】

こなみ保育園は令和6年度で築12年を経過したところである。将来的には長寿命化工事を視野に入れつつも、経年劣化に対して計画的に修繕等対応を進めていく必要がある。



こなみ保育園 築12年

【方針(案)】**こなみ保育園**

拠点園として位置付ける。
経年劣化に対応するため、計画的に修繕を実施する



施設面



客観的な施設状況から
大まかな方向性を
示すことができる



今回示す方針(案)



機能面



意見・要望等を
集約する余地がある



更なる意見集約を行う

- ・保育所専門委員会
- ・園長会
- ・アンケート実施(3月専門委員会)



(仮称)地区懇談会
各小学校区の施設面の方針を
もとに、子育て支援機能を加
味した方針をもって地区懇談
会を実施

機能面



意見・要望等を
集約する余地がある



子育て支援機能の一例

療育支援

入園前支援(ひよこ組)

入園後支援(らっこ組)

年長児支援(小集団)

集団でなじみづらい

アレルギー対応

病児病後児

保護者支援(にじたま)

園ごともしくはは市内全体で
必要なサービスと提供量を決めていく

「機能面」方針決定

- ・保育所専門委員会
- ・園長会
- ・アンケート実施(3月専門委員会)
- ・(仮称)地区懇談会



諏訪市内全体の保育機能の
サービス量を固めていく

令和7年度中

各地区ごと具体的な対策

上諏訪・城南・豊田・湖南地区

→拠点園の長寿命化含めた計画的な修繕の実施
不足する保育サービスをどのように補うか検討

四賀・中洲地区

→公立園の施設規模の決定
民間活力活用に向けた要件の整理

【準備が整ったエリアから建替に着手する】

用地選定→設計→建替

「機能面」方針決定後～令和11年度